【2012 年 1 月から 2013 年 12 月 8 日の間、腹部造影 CT 検査を施行された患者さんへのお知らせ】

課題名〈ウィルス性肝硬変症例における耐糖能異常は膵実質の MRI 所見に影響を与えるか？〉

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2012 年 1 月から 2013 年 12 月 8 日の間、当院で腹部造影 MRI 検査を施行された方につきまして、ウィルス性肝硬変症例の膵実質の MRI 所見に対する耐糖能異常の影響を検討するための後方視的調査研究を実施いたします。

ウィルス性肝硬変症例において、肝腫瘍などの疑いで施行された腹部造影 MRI で観察される膵実質の MRI 所見と耐糖能異常との関連性を明らかにして、様々な膵疾患の MRI 診断能の向上を図ることを目的としております。

調査実施期間は倫理委員会承認日から 2 年間の予定です。

1. 治療介入を伴わない「疫学研究」で、既存資料のみを用いた研究であるため、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。なお研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費のみを使用するため、このような利益相反の状態にはなりません。
2. 研究に関してご質問のある方や、研究参加を希望されない方は、下記までご一報くださいますようお願いいたします。

問い合わせ先：放射線医学（画像診断 1）准教授　玉田　勉
電子メール：　ttamada@med.kawasaki-m.ac.jp
TEL:　086-462-1111（内線 44201）
FAX:　086-464-1123